

富士通グループ AI コミットメント

情報通信技術の進歩、とりわけ人工知能（AI）の急速な進歩は、人々の生活やとりまく社会を劇的に変えつつあります。刻一刻と生み出される膨大なデータは AI により分析され、ものづくり、金融、医療、交通、物流、農業といった人々の生活に欠かせない分野で直面する社会課題や、水不足、温暖化、砂漠化のような環境問題に、新たな解決方法を導き出しつつあります。

その一方で、不当な差別など、AI が思いもよらぬ副作用をもたらす可能性も指摘されています。人の尊厳を大切に、豊かで夢のある未来を創るために、富士通グループ（以下「富士通」）は、AI を開発・提供する者の責務として、便利さだけでなく、安心・安全な利用を実現することが不可欠であると考えます。

2009 年、富士通は、人が中心となった ICT 社会の実現を目指す **Human Centric** という考えを発信しました。2015 年に掲げたコンセプト「人と協調する、人を中心とする AI」は、AI を倫理的に正しく使うという価値観をすでに内包していました。今般、富士通は、**Human Centric** の理念のもと、「富士通グループ AI コミットメント」を策定しました。富士通は、このコミットメント（お客様・社会へのお約束）を通じて、AI の開発者・提供者として自らを律し、お客様から信頼されるビジネスパートナーとしてお客様のビジネス変革を支えるとともに、お客様、お客様のその先のお客様（エンドユーザー）や外部の識者を含めた社会のステークホルダーと対話を重ねながら、AI がもたらす豊かな価値を広く社会に普及していきます。また、このコミットメントについては、外部の識者等で構成される委員会を設置し、その客観的な評価を取締役会と共有することで、AI 倫理に関するコーポレート・ガバナンスの充実を図ります。

- AI によってお客様と社会に価値を提供します：** 富士通は、グローバルに展開するグループ全社をあげて、先端技術を活用した共創を通じ、お客様、社会の豊かな未来創造に取り組んでいます。継続的に開発が進む AI がエンドユーザーや社会に与え得る影響に配慮しつつ、お客様に寄り添い、お客様との共創によって新しい価値を提供します。
- 人を中心に考えた AI を目指します：** 富士通は、**Human Centric** の理念のもと、あらゆる人の可能性を広げ、それぞれが望む形で幸福を追求したり社会に貢献したりすることを支援するツールとして AI を位置づけます。プライバシーを守り、人が差別を受けたり人が危害を受けたりすることのないよう公平や安全を配慮して実装することにより、人が安心して利用できる AI を目指します。
- AI で持続可能な社会を目指します：** 富士通は、持続可能な開発目標（SDGs）に積極的に取り組んでいます。AI の研究・開発・提供を通じて、様々な社会問題や地球規模の課題に挑戦し続け、より良い社会の構築とお客様の長期的な成功に貢献することを目指します。
- 人の意思決定を尊重し支援する AI を目指します：** 富士通は、AI が導き出した提案や結果について、人が吟味して意思決定することが重要であると考えます。AI による自動化を推進するにあたっては、システム全体として、提案や結果の根拠を的確に示す仕組みを提供することを目指します。
- 企業の社会的責任として AI の透明性と説明責任を重視します：** 富士通は、社会の基盤としてあらゆる人に関わるものになっている情報通信技術が担う社会的責任の重さを自覚して、とくに AI については、望ましくない、または不測の結果をもたらさないよう品質向上に努めるとともに、必要に応じて原因を究明できる仕組みを実装して、安心・安全な社会システムを目指します。